

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月28日	記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	経済部	課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川亮司
平成19年度部名	経済部	課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川亮司
事務事業名	畜産振興・相模湖ファームフェスタ運営費補助金				
予算上の事務事業名	(社)相模原市畜産振興協会補助金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		31520		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第5節 都市農業の振興				
施策名	第2施策 特色ある都市農業の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	市補助金等に係る予算の執行に関する規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	▼		5 事業開始年度	▼	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)	(2) 対象(誰、何)				
自然豊かな相模湖町内の酪農家等とのふれあいを通し、農業、食及び水源地域の大切さを感じてもらうことにより、地域の活性化を図る。	一般消費者				
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
イベントの開催：平成18年11月5日内郷地区内において、さがみこファームフェスタ2006を開催、参加者113人 石老山ハイキングとイベント会場での乳牛の乳しぼり・バター作り・子牛の心音を聞く・野菜の収穫体験をしながら、内郷地区の酪農家等とのふれあいを図った。収入 水源の里づくり県北推進協議会補助金205000円、県酪農業協同組合連合会補助金171695円、市補助金80000円、参加者負担金等97619円					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	80	80	80
一般財源	0	0	80	80	80
受益者負担金	0	0	48	50	50
その他の特定財源	0	0	426	300	230
人件費の合計	0	0	594	594	594
事業コスト合計	0	0	674	674	674
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	さがみこファームフェスタ運営事業			対象名称 と単位	参加者113人
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	674	674	674
対象数	0	0	113	100	100
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	5,965	6,740	6,740
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.13	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	参加者数・人	指標式と指標の説明	実績/目標		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	113.0		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	113.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	参加者数・人	指標式と指標の説明	実績/目標		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	113.0		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	113.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
C	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
C	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
C	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]	：良好な状態を維持する事業			
	[]	：概ね良好な状況である事業			
	[]	：見直しを行う必要がある事業			
	[]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		平成10年から都市住民とのふれあいを目的に実施してきたが、酪農家の減少により負担が大きくなってきている。合併を機に実行委員会の組織及び運営の見直しを進める必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策 津久井郡農協の酪農組織にも参加を促す。			1 5 課題として認識されたこと 実行委員会の核となっている酪農家への依存度が高く、大きな負担になっている。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業の実施体制等を見直す必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			